

令和2年度 第3回 大阪市立加島小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立加島小学校

校園長名 西岡 貴史

日 時	令和3年3月		
場 所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文書による協議とした。		
文 書 送 付	委員など	宮原智子(会長)、武田真実子(委員)、田中 守(委員)、福浦 恵(委員) 前田治雄(委員)、福場弥生(委員)、大原千成(委員)、坂本秀美(委員)	
	校園	西岡貴史(校長)、篠崎昌美(教頭)、吉松智昭(教務主任)、住藤泰司(人権教育主担)	
	区役所		
議題		① 令和2年度「運営に関する計画」最終評価について ② 学校関係者最終評価アンケートの結果について ③ 学校の現状について	
※資料と意見記入カードを各委員に送付、返送いただき、第3回の協議とした。			
意見要旨	協議の結果		意見の概要
	①	○学校の運営に関する計画(最終評価)について、年度目標の達成状況や課題についてご理解いただき、最終評価に関して、委員の承認を得た。	・学校閉鎖になることがなかった点を最も評価する。 ・コロナ禍で休校や制約があった中、多くの取組について概ね実施できていた。 ・ほとんどがA・Bの評価でよかったです。 ・子どもたちが少しでも安心して学校で過ごせるように考え、楽しめるようにしていただいていることがよくわかった。 ・漢字能力検定の合格率94.0%は、とても頼もしく感じた。 ・小学校1年生から漢字に親しむ取り組みをしてはどうか。 ・取組内容⑦の改善点に学校としての課題とマッチしていないとあるのはどのようなところか。 ・タブレットが小学生時期に本当にいいかは疑問もあるが、ITの良い部分を活用していけばよい。
	②	○学校関係者最終評価アンケートの結果について概ね理解をいただき、委員の承認を得た。	・保護者と児童の意見は大きく食い違いがなくほぼ同じ思いだと感じた。 ・子どもも保護者も加島小学校に対して大変満足しているのがよくわかった。 ・最終評価と中間評価を比較すると、わずかだが全般的に肯定的な回答が多くなっている。学校が再開されて少し落ち着いて気持ちが前向きになったのかもしれない

		<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書には家庭の協力も必要。 ・本を借りる（貸し出し冊数を増やす）だけで本を読んでなければ意味がない。本を読む時間をもっと作れたらと思う。 <p>③ ○学校の現状（取組）についてご理解いただき、委員の承認を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防策をとりながら、できる範囲での活動に取り組んでいたと思う。自粛が続くと、児童の経験や体験する機会が減ってしまうのではないかと不安である。 ・保護者に対する講習などをオンラインですれば、保護者が学校に関わる機会が増えるのではないか。 ・S D G s という持続可能な社会の実現に向けた取組について、自分たちの未来を考えることを学校でも行ってもらえたと思う。 ・ホームページも毎日のように更新され、配布物も丁寧に情報発信されていた。 ・今後もしばらくは今まで通りにいかないような状態が続くと思うが、学校側の努力に地域が協力していくならと思う。 <p>⇒今年度は、保護者や地域の方々に学校へ来ていただく機会がほとんどなかったが、来年度この状況が解消した際には、地域との連携をしっかりと進め、子どもたちの様子をご覧いただきながら丁寧に教育活動を進めていきたい。</p>
協議資料		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度「運営に関する計画」最終評価 ・アンケート（学校関係者最終評価） ・学校の現状について ・区役所配布資料（学校協議会新任委員用資料）
備考		傍聴者[]名